

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)
委員名簿(案)

< 委員長 >

米倉 弘 昌 一般社団法人 日本経済団体連合会 会長

< 委員長代理 >

涌井 史郎 東京都市大学 教授

< 学識経験者・有識者・文化人 >

(アイウエオ順)

岩槻 邦男 東京大学 名誉教授
イルカ 国際自然保護連合 (IUCN) 親善大使
小菅 正夫 北海道大学 客員教授
堂本 暁子 前千葉県知事、元 IUCN 副会長
山岸 哲 公益財団法人 山階鳥類研究所 名誉所長

< 関係団体 >

一般社団法人 日本経済団体連合会 (経済界)
公益社団法人 経済同友会 (経済界)
日本商工会議所 (経済界)
公益社団法人 日本青年会議所 (経済界)
一般社団法人 大日本水産会 (経済界)
全国漁業協同組合連合会 (経済界)
社団法人 日本林業協会 (経済界)
全国森林組合連合会 (経済界)
全国農業協同組合中央会 (JA全中) (経済界)
全国農業協同組合連合会 (JA全農) (経済界)
一般社団法人 日本新聞協会 (メディア)
一般社団法人 日本民間放送連盟 (メディア)
国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J) (保全・普及啓発団体)
公益社団法人 日本植物園協会 (保全・普及啓発団体)
公益社団法人 日本動物園水族館協会 (保全・普及啓発団体)
公益財団法人 日本博物館協会 (保全・普及啓発団体)
国連生物多様性の10年市民ネットワーク (保全・普及啓発団体)
一般社団法人 CEPAジャパン (保全・普及啓発団体)
生物多様性わかものネットワーク (保全・普及啓発団体)
一般財団法人 自然公園財団 (保全・普及啓発団体)
SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク (仮称: 設立予定) (保全・普及啓発団体)
公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J) (保全・普及啓発団体)
地球環境パートナーシッププラザ (GEOC) (保全・普及啓発団体)
生物多様性自治体ネットワーク (地方自治体)

< 関係省庁 >

外務省
文部科学省
農林水産省
経済産業省
国土交通省
環境省

国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）
活動支援のための寄付金の扱いについて（案）

1. 概要

- UNDB-J の活動支援のための寄付金については、本年3月末より、新たに公益財団法人 日本自然保護協会（NACS-J）に受け入れて頂いているところ（委員の皆様には3月にメールでお諮り済み）
- NACS-J は、寄付金が公益目的事業に活用されることなど NACS-J としての確認が必要であるため、NACS-J の内部に「UNDB-J 支援事業財務委員会」（以下、NACS-J 財務委員会）を設置
- 寄付金の活用については、UNDB-J が決定する事業計画に沿った内容にするとともに、NACS-J としての確認が必要であることから、UNDB-J と NACS-J が緊密に連携

2. 寄付金の活用に係る手続き

- UNDB-J 事務局は、寄付金活用について NACS-J 財務委員会事務局と調整しつつ、UNDB-J の翌年度事業の実施計画案（どの事業に寄付金を活用するかを含む）を作成（～1月）
- UNDB-J 運営部会（2月）において、翌年度事業の実施計画について概ね決定（正式決定は5月の委員会）し、寄付金活用計画の検討を NACS-J 財務委員会に依頼
- NACS-J 財務委員会事務局は、UNDB-J 事務局と調整しつつ、寄付金活用計画（たたき台）を作成（2月）
- NACS-J 財務委員会（2月）において、寄付金活用計画（素案）を決定
- NACS-J 財務委員会事務局は、年度末までの寄付金受入額を整理した後、UNDB-J 事務局と調整しつつ、寄付金活用計画（案）を作成（4月）
- NACS-J 財務委員会（5月）において、寄付金活用計画を決定し、UNDB-J 運営部会（5月）に報告（あわせて前年度の寄付金活用実績についても報告）

